

8月	矢作川愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 34.6km~41.62km
			管轄出張所: 岡崎出張所
実施日	令和2年8月31日	実施区間	久澄橋~高橋

『平成の大改修』

■トンネル区間の改修内容

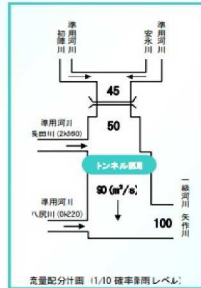
- ・今回の改修では、現在、1秒間に約10m³(立方メートル)の流量に対し、1秒間に約90m³の水を流すことができるように、新しいトンネルを作り直す。
- ・これにより、安永川の最大流量が9倍となり、10年に1回の洪水で発生する(時間雨量63mm)を流すことができるようになります。

■開水路区間の改修内容

- ・トンネル区間上流の墨り込み河渠区間では、「やすらぎとふれあいの水辺づくり」を整備の方針として、河川改修をおこなっています。
- ・開水路区間では道物や生物の生息系に配慮した『多自然川づくり』の手法により、変化に富んだ水環境を創出し、豊かな自然環境の再生を目指します。

■矢作川合流部の排水水門建設

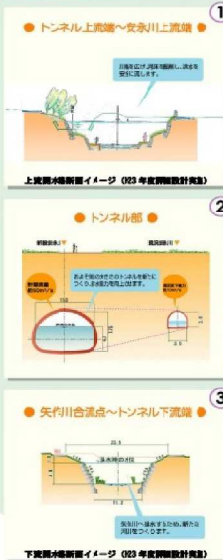
- ・矢作川との合流部に建設される排水水門は、団体が四方向に4道に並ぶので、ハーモニカのような外観をします。
- ・水門延長は約64mで矢作川堤防に設置され、明治用水路を下流していきます。1面につき、高さ3.6m、幅5.9mの大きさで、全体で1秒間に100m³の水を流すことができます。
- ・水門には、魚の通る道である「魚道」を設けることで、魚が通上(そじょう)できるような川づくりを目指していきます。



整備方針

- 【目的】 概ね10年に1回程度発生すると想定される降雨(1時間63mm)による洪水を安全に流せるようにします。
- 【目標】 「魚の住む川」、「心やすらぐ景観」、「自然とふれあえる水辺」をせざしたやすらぎとふれあいの水辺づくりをおこないます。

安永川改修計画図



新設安永川ルート図

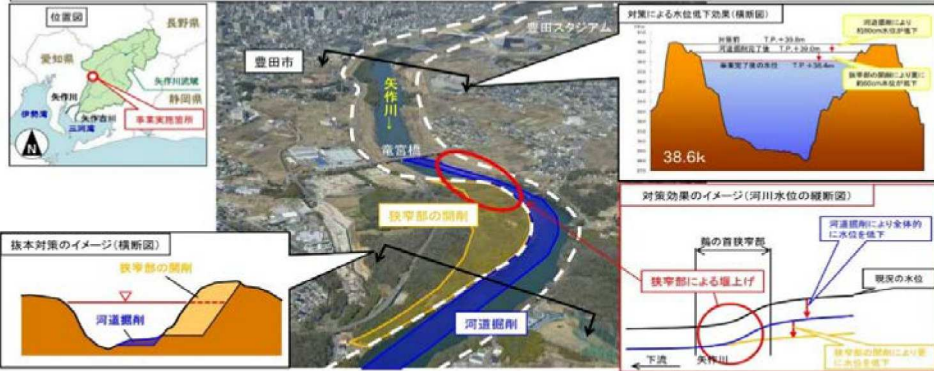


矢作川鵜の首地区水位低下対策事業を、レポートしようとしたのですが、まだ、現地では全く着工されていませんので、この事業と対を成す「安永川」の改修の状況を報告します。
 矢作川鵜の首地区水位低下対策が**堤外の外水氾濫対策**で、堤内の「安永川平成の大改修」がいわゆる**堤内の内水氾濫対策**となり、豊田市の市街地を洪水、浸水対策として2本柱の対策になり拳母市民300年の悲願が達成されよとしています。

矢作川鵜の首地区水位低下対策事業

中部地方整備局

- 豊田市街を流れる矢作川は、竜宮橋下流に鵜の首と呼ばれる狭窄部があり、平成12年の東海(恵南)豪雨では、この狭窄部上流部において氾濫が発生
- 令和元年東日本台風では、他水系において、狭窄部上流で決壊等の被害が発生
- 我が国有数のものづくり拠点を氾濫被害から守るため、抜本的対策として、「鵜の首地区水位低下対策」に令和2年度から着手



8月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 34.6km~41.62km
			管轄出張所: 岡崎出張所
	令和2年8月31日	実施区間	久澄橋~高橋

令和2年8月31日 「安永川」平成の大改修の状況のレポート



初陣川流入地点



安永川流入地点



今回の改修工事最上流部、右側から準用河川安永川、左側から準用河川初陣川が流入してくる。新設された善宿寺橋から上流を見る。



善宿寺橋から下流を見る。重機が河床の土砂を運び出していた。

8月	矢作川 愛護モニター一報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 34.6km~41.62km
			管轄出張所: 岡崎出張所
実施日	令和2年8月31日	実施区間	久澄橋~高橋



新設大正橋から上流を見る。



大正橋から下流を見る。右側の豊田市消防署側は自然堤防。

8月	矢作川 愛護モニタ一報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 34.6km~41.62km 管轄出張所: 岡崎出張所
実施日	令和2年8月31日	実施区間	久澄橋~高橋



森下橋付近



竜宮橋付近



平成27年5月完成の安永川トンネル付近

安永川の流下能力が現在の10m³/SECから、上流部50m³/secの5倍になり、東海豪雨記録された時間降雨量63mmに対応できるようになる。